

# 研究開発課題概要

## 高度画像監視センサネットワーク技術の研究開発

民間基盤技術研究促進制度平成18年度新規提案

受託者	オムロン(株)
研究開発期間	H18年9月~H23年3月(4年7ヶ月)
研究代表者名	内藤 丈嗣
研究開発の概要	<p>時空間MRF技術(*)ベースに人物の異常行動把握センシング技術を確立するとともに、顔画像認識技術と組み合わせることで、高度な画像監視システムを実現する。</p> <p>さらに、センサ間の連携を自律・分散的に行うシステムを実現することにより、人物監視の効率化と実現する。</p> <p>(*)時空間MRF(Markov Random Field)技術          画像を時系列に蓄積した時空間画像において錯綜して重なり合う複数の移動物体の領域を分割する確率モデル。</p>

## 高度画像監視センサネットワーク技術の研究開発



- ◆安全・安心な社会の実現
  - ✓監視社会の到来
  - ✓膨大な監視カメラ群
- ◆膨大なカメラ画像を自律・分散型システムで監視
- ◆センサー・ネットワークによるシステム協調連携
  - ✓リアルタイム公共空間監視・交通管制の効率化
  - ✓通信インフラ設備投資の削減
  - ✓犯罪捜査・交通事故検証の効率化
  - ✓プライバシーと監視社会の両立